

※記載例を参照の上、ご記入ください。

(様式第3号)

企業・団体名（株式会社サワイ）

# SDGs達成に向けた具体的な取組（要件2）【R5.11.30変更】

項目番号	カテゴリ	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合 選択入力	【予定】の場合 選択入力	具体的な取組 （県などの取得認証があれば、併せて記載） （【非該当】を選択した場合こちらには理由記載）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																		
							1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
																									
1	人権・労働	【差別的禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本 （必須）			・差別がないことを客観的に捉えている ・いかなる雇用条件下においても、差別しない体制と仕組みを整備している					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3							16.1 16.2 16.7		
2		【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本 （必須）			・ハラスメント行為を禁止する旨の内容を就業規則に明記し、周知徹底している ・気軽に相談できる窓口を設置している					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8									16.1		
3		【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本 （必須）			・日々生産性の改善、残業時間管理に取組み、またシフト勤務体制などを整備し対応している ・年休取得推奨日を設定している ・職場いきいきアドバンスカンパニー 【ワークライフバランスコース】認定								8.5 8.8											
4		【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本 （必須）			・差別がないことを本人とのヒアリングで確認している ・いかなる雇用条件下においても、差別しない体制と仕組みを整備している				4.4				8.7 8.8		10.2 10.3									
5		【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本 （必須）			・委員会を設置し、リスクアセスメントや巡視にて、問題点抽出・改善を図り、会合で社員に周知徹底している ・採用・配置転換の際、教育を行う旨、就業規則に明記し、社内でのDVD視聴や社外講習会を活用している			3					8											
6		【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本 （必須）			・ストレスチェックを実施し、産業医による面接・指導を受けている ・メンタルヘルス研修を通じて、セルフケア・ラインケアの理解と心理的安全性の向上を図っている			3																
7		【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本 （必須）			・多様な人材を採用するために、求人募集や障がい者への現場実習を積極的に実施している					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3									
8		【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本 （必須）			・新入社員研修や職務・役割に応じた社内外研修（資格取得支援含む）を実施するとともに、教育内容を体系化し、職位に応じた段階的な研修カリキュラムを整備・運用している ・職場いきいきアドバンスカンパニー 【ネクストジェネレーションコース】認定				4	5.5			8	9										
9		【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本 （必須）			・雇用形態及び個々人の契約条件ごとに対応している					5.5			8.5		10.2 10.3									
10		【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ （任意）			・健康保持・増進に向けた取組を継続的に実施し、生産性向上と職場環境改善を図っている。 ・健康経営優良法人（プライト500）認定			3					8											
11	環境	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本 （必須）			・行政の分別手法に準じて、直接社内最終保管場所へ適切に廃棄するよう全社で取り組んでいる											11.6	12		14.1					
12		【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本 （必須）			・電気・灯油・軽油・水道について、その使用量及びCO2排出量を把握している							7.3						13						
13		【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本 （必須）			・太陽光発電エネルギーを工場用電力の一部として使用している							7.2 7.3					12.4	13.3						
14		【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本 （必須）			・有害化学物質を法令に基づき管理し、SDS作成や分類別表示を通じて、安全な使用と職場環境の維持に努めている			3.9			6.3					11.6	12.4							

項目番号	カテゴリ	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合選択入力	【予定】の場合選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) （【非該当】を選択した場合こちらには理由記載）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
							1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																							
15	環境	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本 (必須)			・廃棄物の適正分別、放置することなく適宜専門業者へ引渡すなど、体制と仕組みを構築している						6.6									15		
16		【3Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本 (必須)			・工場で利用する資源の削減目標を年度ごとに立案し、推進している ・製造工程内で使用する工具のリサイクル、リユースの実施												13		14.1			
17		【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ (任意)		【予定】	・水資源の使用状況を把握しており、 今後は水道水使用量の削減計画を策定し、 効率的な利用に取り組んでいく						6.4 6.6											
18		【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ (任意)			・ISO 14001を取得している(2002年度)			3.9			6	7					12	13.3	14	15		
19		【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ (任意)			・HPで環境方針を開示している												12.6					
20		【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			・太陽光パネルを設置し、工場やオフィスへの利用に取り組んでいる							7.2						13				
21	公正な事業慣行	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			・地球環境と生物多様性に配慮され、合法材で製造していることが確認されている製品を利用している												12.2	13	14	15		
22		【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本 (必須)			・汚職・贈収賄を禁止する内容を就業規則に明記し、周知している																16 16.5	
23		【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本 (必須)		【予定】	・不正競争行為に関与しない内容の行動規範を整備し、社内展開を図る																16	
24		【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本 (必須)			・技術情報や設計図面などの知的財産を社内ルールに基づき管理し、適切な保護に取り組んでいる							8.2 8.3	9									
25		【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本 (必須)			・就業規則に明記し、周知している ・「プライバシーポリシー」を定めて、HPで公開している ・パスワード及び施錠管理で特定者のみ取り扱える仕組みを整備している																16	
26		【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ (任意)			・自社調達の材料は、対象鉱物を取り扱っていないことを確認している																16	
27		【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ (任意)		【予定】	・取引パートナーとの信頼関係を強化する一環として、相互間に適切な対応について改めて共有する					5			8		10		12	13	14	15	16	17
28		【パートナーシップ構築宣言】(R5.9.5～追加) ・中小企業庁等が推進する「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している ■パートナーシップ構築宣言サイト： <a href="https://www.biz-partnership.jp/">https://www.biz-partnership.jp/</a>	基本 (必須)		【予定】	・「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表予定			3					8	9	10							17

項目 番号		チェック項目	取組 レベル	【非該当】 の場合 選択入力	【予定】の 場合 選択入力	具体的な取組 (果などの取得認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合こちらには理由記載)	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
							1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																							
29	製品・サービス	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本 (必須)			・全て材料成分の明確な客先指定の原材料を使用し、製造している ・消耗品・副資材はMSDSを入手し、環境に配慮した管理をしている			3.9									12.4					
30		【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本 (必須)			・品質基本方針を策定し、社員に配布することで社内共有している ・品質を保証するための体制・仕組みを構築している ・ISO 9001を取得している(2001年度)									9								
31		【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ (任意)		【予定】	・顧客開発品の省エネルギー化に取り組んでいる ・環境に配慮した製品の開発に取り組む						6						12	13	14	15		
32		【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			・健康経営優良法人(プライト500)として、職場の健康支援や生活習慣改善、ストレスチェック、感染症対策、有給休暇取得促進などを通じて、働く人の健康と社会課題の解決に取り組んでいる	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
33	地域貢献・社会貢献	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本 (必須)			・自社事業が地域に与える影響を把握し、展示会出展や地域イベントへの協力を通じて、地域との交流と信頼関係の構築に努めている				4					9		11	12		14	15		17
34		【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			・地域の次世代人材(子ども)育成の一助になるように、積極的に関わりを持っている(小、中、高校などへの寄付) ・消防団協力事業所として認定取得				4							11			14	15		17
35		【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用(地消地産、地産外商)している	チャレンジ (任意)			・地域資源(産物)を購入し、県外配布を実施し地域産業の消費とPRIに努めている								8	9		11	12	13				
36	組織体制	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内でも共有している	基本 (必須)			・経営理念を明文化し、ホームページで公開しているほか、社内掲示や説明・配布を通じて社員と共有している。また、中期計画や年次経営目標を策定し、全社での共有と達成に向けた推進を行っている								8	9								17
37		【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本 (必須)		【予定】	・法令遵守の方針を就業規則に明記し、社員への周知を徹底している。 ・リスクマネジメント(No40)整備時に、体制・仕組みを構築する																16	
38		【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本 (必須)			・担当役員(取締役)が対応している																16	
39		【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している(※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体)	基本 (必須)			・ステークホルダーと適宜及び定期的に対話することで、情報を提供あるいは共有している ・HPIに情報を公開し、適切に対応している																16	17
40		【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ (任意)		【予定】	・経営及び独自のリスクを洗い出し、現状を評価・適切な対策を講じる																16	
41		【社会的責任】 ・CSR(Corporate Social Responsibility: 企業の社会的責任)の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ (任意)		【予定】	・【予定】CSRに関する方針の策定と、それに伴う具体的な取り組みを整備する																16	
42		【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ (任意)		【予定】	・【予定】事業継続計画(BCP)を策定し、既に実施している定期的訓練と合わせて実施する									9		11		13 13.1			16	
43		【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ (任意)			・将来的な事業承継に対する検討と対策を実施している								8	9								17

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組		具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

【記載留意事項】

- ・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されていることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取組む予定のものであっても、その取組を「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前の【予定】を選択入力してください。）
- ・【非該当】欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合に選択入力し、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
- ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載するほか、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、できるだけ、その旨を併せて記載してください。  
（※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、女性の活躍推進企業知事表彰、男女共同参画推進県民会議表彰、障がい者雇用優良事業所等表彰、信州豊かな環境づくり県民会議表彰、長野県技能評価認定制度、NAGANOものづくりエクセレンス認定、信州福祉事業所認証・評価制度、信州リサイクル製品認定制度、信州の環境にやさしい農産物認証制度、長野県原産地呼称管理制度、信州おもてなし大賞、えるぼし認定、循環型社会形成推進功労者表彰、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）

- この「要件2」は、ISO26000（※1）、RBA（Responsible Business Alliance）（※2）行動規範等を参考に、非財務情報（SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項）について整理し作成
- 「SDGsとの関連性」については、各項目について、169のターゲットに直接的に当てはまる場合は黒字、間接的（結果として）に寄与する17ゴールが当てはまる場合は、赤字で番号を記載
- 企業が県へ申請する際には、チェック欄へのチェックとあわせ、「具体的な取組」へ取組内容を記載
  - ※1…組織の社会的責任に関する国際規格
  - ※2…労働環境、製造プロセスの環境負荷に対する責任を持っていることを確認するための規定